

令和8年度 新校舎開校

禁野小学校における 「新しい学校づくり」

この「新しい学校づくり」は、令和3年6月に策定した「枚方市のめざす学校像」を指針として、高陵小学校と中宮北小学校を統合して誕生する禁野小学校での特色ある教育の取り組みとそれを実現するための環境整備にかかる概要を示すものです。

枚方市教育委員会 作成

はじめに

文部科学省が示した「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(令和3年8月中間報告)を踏まえて作成



1人1台端末環境に対応したゆとりのある教室の整備

多目的スペースの活用による多様な学習活動への柔軟な対応

ロッカースペース等の配置の工夫等による教室空間の有効活用

※イメージ図及び解説は「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」中間報告(概要)」より抜粋

「誰ひとり取り残さない」世界の実現をめざす SDGsの持続可能な達成目標を掲げ、未来に向かう新しい学校づくりを推進

「新しい学校づくり」に関連の深いゴール



※SDGsのロゴは、国際連合広報センターWEB サイトより転載

今後、これまでの高陵小学校、中宮北小学校両校での学びをさらに発展させ、児童の心身の健やかな成長のため、以下の4項目を基本的な方向性として、具体的な取り組みについての検討を進めていく。

1. 一人ひとりの子どもを大切にし、志を育む学校づくり
2. 枚方版「ニュー・スマート・スクール」の推進
3. 子どもの夢を育てる豊かな学校づくり
4. 地域とともにある学校づくり

1. 一人ひとりの子どもを大切にし、志を育む学校づくり

「子どもを守る条例」の基本理念に則り、学校としての役割を十分に果たすための学校づくりを行うとともに、一人ひとりの子どもが多様性を大切にするに認めあい、尊重し合う学校づくりを行う。

(1) 誰一人取り残さない学校づくり

- ・障害その他の特性の有無にかかわらず、すべての児童、教職員が安全かつ快適に利用できるような施設・設備の整備
- ・外国籍の児童、性同一性障害や性的指向・性自認(性同一性)に悩みを抱える児童が安心して通える学校づくり

(2) 主体的・対話的で深い学びのための自由度の高い学習空間

- ・多様な教育方法・学習形態、発達段階の違いなどに応じた柔軟な教室まわり空間、多目的教室の整備
- ・外国語活動・外国語科における多様な学習活動に対応した空間の確保
- ・35人学級実施や支援学級在籍児童の増加などを見据えた施設・設備の整備

(3) グローバル社会に生きる力を育てる学校（夢のある英語教育）

- ・多様で多彩なアプローチにより、英語教育を通じた児童のコミュニケーション能力向上を図るため、関西外国語大学と連携した取り組みを推進
- ・海外を含めた他校との交流活動を通して、これからのグローバル社会で児童が夢を持って自らの可能性を伸ばす教育の推進

(4)多機能な学校図書館を設置する学校

- ・読書センター機能や学習・情報センター機能の役割を発揮できる学校図書館の整備

(5)「個」に応じた支援教育を進める学校

- ・インクルーシブ教育システムの構築など支援教育の体制整備に向けた取り組みを推進
- ・障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及びその基礎となるバリアフリーな環境整備
- ・児童の障害の内容や程度、種別に応じた適切な指導(通級指導など)が行える施設づくり

(6)新しい生活様式に対応した健康な学校

- ・新しい生活様式にも対応した、快適で衛生的な施設・設備の整備

(7)教員の働き方改革を進める学校

- ・教員の執務・協働・教材製作スペースの充実

新しい学校づくりにおける整備(案)
○児童が教員や友達と少人数で相談できるスペースを確保
○多目的な活用ができるオープンスペースを設置
○学校図書館に読書センター、学習・情報センターとしての機能向上のため書庫作業スペースを設置し、就学前児童などが利用できるよう校門からの動線を配慮した部屋の配置
○エレベーターの活用も含め児童の障害の状態に応じた適切な支援教室の配置
○支援教室は、普通教室の仕様として、防音効果のあるパーテーションを設置
○トイレやシャワーのある肢体不自由児対応教室を普通教室規模で設置、動線における段差の解消、スロープの設置
○保健室内もしくは保健室周辺にバリアフリートイレ、シャワー室を設置
○教育環境の向上のため体育館にエアコンを設置
○音楽や映像で「食育や健康を学ぶ」ランチルーム等の配置
○乾式での洋式トイレ及び非接触手洗い設備の整備
○教材室と兼ねた教職員が学年ごと等に活用できるスペースを確保
※なお、プールは、設置しない。

2. 枚方版「ニュー・スマート・スクール」の推進

「1人1台タブレット活用」の先進都市として、枚方版 ICT 教育モデルによる学力向上の取り組みに加え、ICT 等を活用した様々な取り組みを進める。

(1) ICT の活用で、個別最適な学び、協働的な学びを多様に進められる学校

- ・オンラインによる授業配信(臨時休校時の活用や不登校児童への支援)、他校や地域とのオンライン交流などICTを活用した学びの充実
- ・1人1台タブレット端末を最大限活用できる Wi-Fi 環境の充実、モニターの設置等教室環境の整備

(2) ICT を活用した安全管理

- ・安全監視などの防犯対策
- ・情報セキュリティの確保

新しい学校づくりにおける整備(案)

- 日常的な ICT 機器の活用を可能とする普通教室の整備
- 外国語科・外国語活動をはじめ、多様な学習活動が行えるよう、大型スクリーンなどを備えた教室を整備
- 高速大容量通信ネットワーク環境の整備
- 児童の安全安心を確保するため、ICT を活用した防犯設備を設置
- 校内 LAN を活用した校内連絡・緊急通報システムの設置(平常時は校内業務連絡システムに活用)

3. 子どもの夢を育てる豊かな学校づくり

子どもの発達段階に応じて、豊かな心や夢や理想の実現に向かって生きる力、社会に貢献するという高い志を育むため、豊かな学習・生活空間の場となる学校づくりを行う。

(1) 子ども同士の交流を生み、だれにも居場所のある学校

- ・地域の景観や眺望をいかし、地域の良さを実感できる施設配置
- ・学校に愛着がわき、子どもたちが社会性、人間性を育む場であるとともに安心して過ごせる居場所として整備

(2) 安全・安心と夢のある生活を送れる学校

- ・学校事故防止のため、児童や教職員の学校生活での動線に配慮した教育環境を確保
- ・災害時の安全の確保、円滑な避難ができる施設設備

(3) 豊かな環境づくり

- ・木材利用による温かみのある空間整備(効果的な木材活用)

(4) 脱炭素をめざした学校づくり

- ・環境負荷の低減(2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言)や自然との共生を考慮した施設づくり

新しい学校づくりにおける整備(案)

- 淀川や北摂山系の眺望を活かした校舎づくり(展望スペースの設置や廊下の向きにも配慮)
- 木材を効果的に使用した、温かみのある生活空間の整備
- ZEB化に向けた取り組みや環境教育の充実のための施設整備(太陽光発電、高効率照明、建物断熱などの整備)

※ZEBとは、Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。(参照:環境省ホームページより)

4. 地域とともにある学校づくり

学校を地域の貴重な財産としてとらえ、地域防災や子育て支援、生涯学習の拠点として広く地域住民から活用されるような学校づくりを行う。

(1) 地域の活動拠点となる学校

- ・地域のコミュニティ活動や読書活動の場となる施設機能を確保
- ・学校施設開放事業で地域住民等がスポーツ施設等として、活用することも考慮とした設備の整備
- ・多様な人々が利用することからユニバーサルデザインに配慮した整備

(2) 留守家庭児童会室機能を確保した学校

- ・校舎内に留守家庭児童会室を設置し、学校と一体的な施設管理を実施
- ・留守家庭児童会室と教室の相互利用が可能な施設整備

(3) 防災拠点となる学校

- ・地域の防災拠点としての役割を担うため、災害対応にも配慮した施設・設備
- ・災害時には児童の学校生活との動線を分離し、防災拠点としての機能を確保

新しい学校づくりにおける整備(案)
○体育館に更衣室やバリアフリースイールの設置
○コミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会の活動拠点室を整備し、協働の取り組み成果を発信する機能や図書館機能などを確保
○就学前児童等の利用にも配慮した新たな遊具の設置
○地域の歴史遺産である「禁野火薬庫跡地」、「禁野本町遺跡」の資料などが展示でき、地域住民も利用可能なコーナーを設置
○留守家庭児童会室機能が制限されないように、児童の活動や保護者の送迎の動線に配慮した配置
○留守家庭児童会室入室児童の増加への対応や児童の居場所としても活用できるよう、一部の教室に電気・給排水設備などを設置
○体育館の防災設備機能の充実(防災備蓄倉庫の設置、Wi-Fiの設置、非常用電源の整備、給排水設備の整備など)
○災害用マンホールトイレの設置